

JCOM2017 大会プログラム (2017 年 12 月 9 日開催)

10:00～ 受付 (筑波大学 総合研究棟 A 1 階エントランスホール付近)

10:30 総会 (総合研究棟 A110)

研究発表会 (総合研究棟 A110)

ICOM9 参加若手研究者支援事業報告:

座長: 山田明義 (信州大学)

11:00 O1 殺菌処理による栄養制限が混合栄養植物イチヤクソウの成長に及ぼす影響

○河合将生¹・谷川東子²・上杉天志¹・松尾奈緒子¹・Marc-André Selosse³・松田陽介¹ (¹三重大学大学院
生物資源学研究科, ²森合研究所関西支所, ³Muséum National d'Histoire Naturelle, Sorbonne
Universités, France)

11:13 O2 分散様式の異なる菌根菌種の集団遺伝構造

○小泉 敬彦・奈良 一秀 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

11:30 休憩

一般研究発表

座長: 松田陽介 (三重大学)

12:30 O3 キシメジ属きのこの担子胞子および外生菌根からの分離培養

○遠藤直樹¹・牛島秀爾²・長澤栄史²・菅原 遼¹・早乙女梢¹・前川二太郎¹・中桐 昭¹ (¹鳥取大学農学
部, ²日本きのこセンター菌蕈研究所)

12:43 O4 バラ科樹木を宿主とするハルシメジ類の胞子分離および菌根分離

○宍倉愛実・竹村圭弘・早乙女梢・中桐 昭・前川二太郎・遠藤直樹 (鳥取大学農学部)

12:56 O5 スメリイグチ属3種の子実層に対するチャコウラナメクジの選択性

○澤畠拓夫・山丸実佳・富田晴名 (近畿大学農学部)

座長: 大和政秀 (千葉大学)

13:10 O6 共培養実験を用いたシダ類配偶体とアーバスキュラー菌根菌の共生関係の解析

○今市涼子¹・鈴木絢子¹・橋本季巳江¹・辻田有紀²・海老原淳³ (¹日本女子大学理学部, ²佐賀大学農学部,
³国立科学博物館植物研究部)

13:23 O7 植物の形態形成は菌根菌が決める -サイハイラン (ラン科) の菌根共生-

○谷亀高広¹・遊川知久² (¹瑞穂町郷土資料館, ²国立科学博物館植物研究部)

13:36 O8 ケカビ門共生菌のゲノム構造の共通性とゲノムレベルの系統関係

半田佳宏¹・山本航平²・前田太郎¹・出川洋介³・広瀬大⁴・川口正代司¹・山田明義²・○齋藤勝晴² (¹基礎生物学研究所, ²信州大学, ³筑波大学, ⁴日本大学)

13:50 休憩

座長：江沢辰広（北海道大学）

14:05 O9 フタバネゼニゴケ *Marchantia paleacea* を用いた野外アーバスキュラー菌根菌の単離・菌株化技術

○小八重善裕・大友 量・森本 晶・岡 紀邦（農研機構 北海道農業研究センター）

14:18 O10 RNAi 法を用いた *GmMT1* の発現抑制がダイズの根粒・菌根共生系に及ぼす影響

○北澤悠里香・小山浩由・坂本一憲・中村郁郎・園田雅俊（千葉大学大学院園芸学研究科）

14:31 O11 Changes of bacterial community of hyphosphere of *Gigaspora margarita* and *Rosellinia necatrix* by a hot water treatment.

○H.T.T. Nguyen, C. Katsuyama and Y. Kuga (Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University)

座長：齋藤勝晴（信州大学）

14:45 O12 直接および菌根経路からのリン酸獲得量を推定する分子マーカーの開発

○港 翔平¹・丸山隼人¹・手塚あゆみ²・永野 惇²・江沢辰広¹ (¹北大院農, ²龍谷大農)

14:58 O13 アーバスキュラー菌根菌における宿主へのリン酸供給の分子機構

○丸山隼人・江沢辰広（北大院農）

15:11 O14 Selection of disturbance-tolerant arbuscular mycorrhizal fungi along a volcanic slope

Sarah Asih Faulina¹, Shiho Kudo¹, Ai Kawahara¹, Jun Tanaka², Akio Sato², ○Tatsuhiko Ezawa¹

(¹Graduate School of Agriculture, Hokkaido University and ²Japan Conservation Engineers Co., Ltd.)

研究発表会ポスターセッション（総合研究棟 A107）15:25-16:25

P1 低リン酸ダイズ圃場におけるアーバスキュラー 菌根菌接種試験結果とその要因分析

○林 正紀¹・丹羽理恵子¹・佐藤修正²・平川英樹³・吉田重信¹・江沢辰広⁴・齋藤雅典^{5,6}・唐澤敏彦¹ (¹農研機構 中央農研, ²東北大院生命科学, ³かずさDNA研, ⁴北大院農, ⁵東北大院農, ⁶JST)

P2 アーバスキュラー菌根菌群集構造解析パイプラインのウェブインターフェース開発

○丹羽理恵子¹・佐藤修正^{2,3}・平川英樹³・吉田重信¹・江沢辰広⁴ (¹農研機構中央農研, ²東北大院生命科学, ³かずさDNA研, ⁴北大院農)

P3 駒止湿原開墾跡地のブナ生育に関わる共生菌類の探索

○猪瀬有美¹・郭永²・高島勇介^{2,3}・渡邊真紀子⁴・坂上伸生²・成澤才彦²（¹茨城大・院農、²茨城大・農、³東京農工大院・連合農学、⁴首都大・都市環境）

P4 アーバスキュラー菌根菌の *in vitro* 培養における宿主毛状根の影響

○石田孝英（NBRC（NITE バイオテクノロジーセンター））

〈第9回国際菌根会議（ICOM 2017）ポスター〉

ICOM1 Arbuscular mycorrhizal fungal DNA that are in physiologically active colonization in roots.

○Kobae Y, Ohtomo R, Oka N, Morimoto S（農研機構北海道農業研究センター）

ICOM2 Infection unit density as an index for infection potential of arbuscular mycorrhizal fungi.

○Ohtomo R, Kobae Y, Morimoto S, Oka（農研機構北海道農業研究センター）

ICOM3 Different responses of various crop species to arbuscular mycorrhizal inoculation and P fertilization.

○Karasawa T, Hayashi M, Urashima Y, Hashimoto T（農研機構中央農業研究センター土壌肥料研究領域）

ICOM4 Ectomycorrhizal fungal communities associated with alpine relict populations of *Pinus pumila* over Japan.

○Koizumi T, Nara K（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

ICOM5 The effect of nutritional limitation by fungicide treatment on growth of mixotrophic *Pyrola japonica*.

○Kawai S, Tanikawa T, Uesugi T, Matsuo N, Selosse MA, Matsuda Y（三重大大学生物資源学研究科）

ICOM6 Genome analysis of *Endogone pisiformis* and *Sphaerocreas pubescens* in Mucoromycotina.

○Saito K, Handa Y, Shibata TF, Yamamoto K, Kasahara M, Degawa Y, Hirose D, Nishiyama T, Kawaguchi M, Yamada A（信州大学農学部）

ICOM7 Optimum level of soil available phosphorus for AMF inoculation to Welsh onion in non-allophanic Andosol.

○Suzuki T, Uno T, Tajima R, Ito T, Saito M（東北大学農学研究科複合生態フィールド教育研究センター）

特別講演（総合研究棟 A110）

座長：山田（信州大学），阿部（筑波大学）

16:30 S1 Successes and challenges of the sustainable cultivation of edible mycorrhizal fungi – will the dream come true?

○Alexis Guerin-Laguette (Microbial Systems for Plant Protection, The New Zealand Institute for Plant & Food Research Limited, New Zealand)

17:15 S2 内生菌が関与した重金属耐性獲得：リョウブ・ススキを例として

○山路恵子（筑波大学）

懇親会（2B棟 カフェ マルハバン（Café MARHABAN））18:30-20:30

発表要項

口頭発表：

一般講演は、発表時間 **10分間**、質疑応答 **3分間**（計 **13分間**）です。時間を厳守してください。

発表用のパワーポイントファイルをご用意願います。ファイルはUSBメモリー（アンチウイルスソフトで必ず確認した物）で当日持参して下さい。受付（下図参照）横にコンピューター（Windows 10, PowerPoint 2016）を用意します。午前中の講演の方は10：50までに午後の講演の方は、12：20までにインストールを済ませて下さい。

ポスター発表：

ポスターセッション会場は総合研究棟 A107（下図参照）を予定しています。

ポスター展示ボードは110 cm（横）×150 cm（縦）で、画鋏でとめて下さい。画鋏は用意します。

ポスターの説明時間は15：25から16：25です。

その他：

昼食：大学の食堂（下図参照）は数店ありますが、13：30や14：00には閉店します。

懇親会：2B棟 カフェ マルハバンで行います。参加費は4000円を予定しています。

二次会など：つくば駅（つくばセンター）周辺に飲食店があります。

